

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0409	都市農村交流推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
グリーンツーリズムの推進

《事業開始の背景》
農家所得の向上と交流人口の拡大を図るため、農業体験型の潜在が有効な手段である。このことから、グリーンツーリズムを推進するための誘致活動や受け入れ農家の資質向上が必要があることから、推進団体に支援することとした。

《事業概要》
受け入れ農家の研修や修学旅行誘致にかかる経費の一部を負担（900千円）
かわさき市民祭りの出店経費を負担（565千円）

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 農業体験料総額	千円	目標	12,000	13,000	
		実績	6,260	8,909	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	農林部	農政課	菊池 正彦	6-284

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	1,465				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,465			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

はなまきグリーン・ツーリズム推進協議会 900千円

事業費2,088,987円

市・JA負担金 1,800,000円

花巻市全体

受入れをしたことによる地域外貨の獲得
地域の活性化

はなまきG.T推進協議会

- 構成機関
 - 花巻市
 - 花巻市教育委員会
 - 花巻農業協同組合
 - 県南広域振興局花巻農林振興センター
 - 社団法人 花巻観光協会
 - 花巻市森林組合
 - はなまきグリーン・ツーリズム受入農家の会
 - 大迫町グリーン・ツーリズム受入農家の会
 - いしどりやグリーン・ツーリズム受入農家の会
- 平成25年度 協議会事業概要
 - ・農家生活体験等の受入れ
 - ・マスコミ等への情報提供
 - ・受入農家を対象とした研修会の実施や各種大会への参加
 - ・他県への誘致活動の実施や情報発信
 - ・新規受入農家の加入推進

かわさき市民祭り参加経費 565千円

- ・市職員2人+民間職員2人の旅費
- ・小間料、机、イス等借上料
- ・運送用トラック借上料

■かわさき市民祭り参加概要

- ・湖畔の郷交流事業計画に基づき、川崎市との交流促進の一手段として、花巻市の農産物や加工品等の物販を行っ

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0409	都市農村交流推進事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	グリーンツーリズムの推進			
対象	農業体験を受け入れる農家			
意図	農業体験の受入等による農家所得の向上			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

受け入れ農家の研修や修学旅行誘致にかかる経費の一部を負担（900千円）
 かわさき市民祭りの出店経費を負担（565千円）

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 教育旅行受入者数	人	計画	2,300	2,500	
		実績	1,632	1,782	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 農業体験料総額	千円	目標	12,000	13,000	
		実績	6,260	8,909	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

前年度に引き続き誘致活動や説明会を行った結果、旅行者等が増えた。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

震災により受け入れ者が減少したが、回復基調にある。
 新規受け入れ農家の育成を行い、受け入れ態勢を整備する必要がある。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市・農協・県・観光協会・森林組合・受入団体が連携し、花巻市の農村の自然と食・文化を活かしたグリーン・ツーリズムを推進した。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	農家が受け取る体験指導料の中から、旅行代理店へ支払う仲介手数料を捻出し、誘致数の増加に努めた。また、学校や旅行代理店を訪問し誘致活動を行った。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	推進協議会は、農家を対象とした研修会の実施、学校や旅行代理店への情報発信としてパンフレットの作成・配布等を行っている。また、各地区の受入れ団体の事務を市と農協が分担している。事務局は、受入農家探し、説明会・反省会の開催、資料作成、農家巡回対応等を行っており削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	受入農家は広く募集しており、公平である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

前年度より引き続き誘致活動を行った結果、震災後、東北に来ることを避けてきた北海道や大阪方面からの旅行者が増加した。
 受入農家の高齢化等により受入ができる農家が減少してきていることを受けて、受入の様子等を記録したDVDを作成・配布し、受入農家の新規開拓に努めた。これにより受入を行った農家もあるので、次年度以降も引き続き普及活動を行い、受入体制の強化を図る必要がある。